



仙北市

# 議会だより

No. 12

■特集■ 地域をたずねて



# 神代小改築工事は地元共同企業体 仙北市 9月定例議会

仙北市の9月定例会は、9月4日から9月25日まで、会期22日間の日程で開かれた。当初の提出議案は、条例5件、補正予算8件、決算認定3件など19件。追加案件は神代小改築工事請負契約で合計20件の提案だった。

開会冒頭、桜まつりの臨時駐車場料金問題で、関係職員を処分したことが報告され、市長の陳謝で9月議会は始まった



**会期第1日**  
議会で提案された議案は、条例、補正予算、企業会計決算、市道の認定・廃止などである。追加提案は神代小改築請負契約、固定資産評価委員会案件である。

## ■外町交流広場条例

中心市街地活性化と観光交流サービスの向上を図ることを目的に設置された。当面は仙北市商工課が管理運営するが、将来は指定管理者による管理を予定している。

条例では開館時間が市役所の勤務時間どおり。また市長の使用許可を受けなければならない、等々お役所仕事であり、目的に沿った活用はできそうにない。早く指定管理者による管理に切り替えることが必要だ。



市街地活性化の役割をどう担う

条例では開館時間が市役所の勤務時間どおり。また市長の使用許可を受けなければならない、等々お役所仕事であり、目的に沿った活用はできそうにない。早く指定管理者による管理に切り替えることが必要だ。

## ■市立病院経営に赤信号！

**■平成19年度病院事業会計決算**  
田沢湖病院の19年度決算は、2億3055万円の赤字決算。

累積欠損金は4億2038万円に増加し、田沢湖病院の経営内容はさらに悪化した。

角館病院も19年度6856万円の赤字決算。累積赤字は10億5906万円に膨れ上がった。仙北市による病院経営は、危

険な状況にあることをお互いが認め合い、経営改善に心しなければならぬ事態である。

## ■人権擁護委員推薦に同意！

「人権擁護委員として推薦したいので、議会の意見を求める」という諮問第3号が提案された。

角館町白岩下掬54番地草薙紀雄（64歳）氏に仙北市議会は、全会一致で同意した。

## ■合併後、市道の見直し！

合併してまもなく3年になろうとしているが、このたび同一名称の変更や起点終点など、大幅な見直しがあり、市道廃止と認定案が提案された。

## 一般会計2億2514万円を補正 除雪費に1億4千万円！

### ■(歳入)

最も多いのは「繰越金」で、1億5321万円は歳入の約66%を占める。国から交付される「地方交付税」は、3109万円

で2番目に多い。「財産収入」は土地や立木の売り払い収入で1581万円。市債は臨時財政対策債で1100万円。県

支出金は障害者自立支援臨時対策補助金、小学校費委託金など、1020万円の補助金である。国庫支出金はわずか1

70万円で汚水処理施設整備交付金(浄化槽)の164万円が主である。

### ■(歳出)

最も多い支出は土木費で支出額の約65%を占める。主なものは今年冬の冬期交通対策費



シーズンを前に出番を待つ除雪機械

で、1億5607万円である。そのうち1億4000万円は除雪委託費である。

次に多い支出は総務費で、財産管理費や台湾の姉妹都市訪問費などの総務管理費が1118万円。

徴税費は2662万円で、委託料と備品購入費である。その他統計調査費など総務費の補正総額は4008万円である。

民生費の内訳は、社会福祉費が917万円で、そのうち介護保険特別会計への繰出が744万円。児童福祉費が、301万

円の補正。民生費の総額は1218万円の補正。衛生費は浄化槽施設整備事業費493万円など547万円の補正である。

農林水産費は農地費、農業施設費など298万円の補正。商工費は外町交流広場

施設管理運営費219万円、観光費は施設維持管理費等362万円、桜振興費53万円など総額634万円の補正である。

教育費は小学校費が473万円、中学校費が498万円で、生徒派遣費補助金が大半である。その他に幼稚園費や社会教育費が少額補正された。

なお地方債の平成20年度末残高見込み額は、270億9893万7000円で、19年度と比較すると約4億円近い減額の見通しである。

教育費は小学校費が473万円、中学校費が498万円で、生徒派遣費補助金が大抵である。その他に幼稚園費や社会教育費が少額補正された。

## 平成19年度企業会計決算

### 2億9844万円の赤字決算―市立病院

#### ■病院事業会計決算

平成19年度の角館、田沢湖両病院の事業会計決算認定案が議会に提出された。

収入決算額は49億4235万円。支出決算額は52億4080万円

で、収支決算額マイナス2億9844万円となり、3億円近い赤字決算となった。角館病院の決算をみると、

医療収益は38億6680万円、医療費用は40億6217万円で、医療に係るマイナスは1億9536万円である。

田沢湖病院の決算は、医療収益7億1169万円、医療費用9億9094万円で、医療に係るマイナスは2億7924万円である。

19年度の純損失額は、角館病院が6855万円、田沢湖病院が2億3055万円で、合計すると2億9911万円の赤字額を計上した。これに両病院の前年度繰越欠損

19年度の純損失額は、角館病院が6855万円、田沢湖病院が2億3055万円で、合計すると2億9911万円の赤字額を計上した。これに両病院の前年度繰越欠損

金11億8033万円を加えると累積欠損金は14億7944万円となり、病院事業会計も仙北市一般会計同様、危機的状況下にある。

#### ■温泉事業会計決算

19年度の収益は3572万円の前年比49万円増となった。費用は2945万円の前年より0.1%減額となった、純利益は前年より53万円増の626万円を計上した。

#### ■水道事業会計決算

水道事業の収益は前年比234万円減の2億

8930万円である。費用は前年比899万円減の2億5748万円となった。純利益が前年比665万円増加して、3181万円の計上となった。

簡易水道事業の収益は前年より265万円増加して、6600万円。費用は職員給与費等の減により812万円減少して5262万円となった。この結果、前年度比1078万円増の1338万円の純利益となった。

(審査内容は11Pに記載)



市民の安全な水にかかせない急速ろ過器



# 一般質問

今定例会は8人の議員が一般質問に立った。

安藤武議員は農業問題と消防団員の不足状況について、田口喜義議員は仙北市地域医療、田沢湖病院の診療所化などを取り上げた。

浦山敏雄議員も田沢湖病院改革と公共工事の入札について、青柳宗五郎議員は減反活用での農業振興と駐車場料金の取扱について質した。

平岡均議員は後期高齢者問題、佐々木章議員は市民と協働のまちづくり等。

田口寿宜議員は、田沢湖病院問題、門脇健郎議員は内陸線存続について質した。

## 農業振興の長期計画策定を!! 精力的に策定に向けて進めたい



安藤 武

**質問** 農業資材の高騰、中でも肥料は平均

6割の値上がりで大変な状況である。加えて燃料代の値上がりで、このま

までは農家の存亡に関わる事態を招くことは明らかである。仙北農業チャレンジプランの検討会資料によると、将来に生き残る強い決意を持つ農家が、大仙・美郷よりも、この仙北市は少ないと感じられる。複合経営に向けて強力な作目誘導のための支援助成を仙北市でも考えるべきと思うが、市長の考えを伺う。



複合経営作目の大豆の収穫

**答弁** 質問の中にある仙北農業チャレンジプランは今年で終了予定となっていて、来年度以降、仙北市独自の行動計画を作成する必要がある。経営の複合化に向けては、県単事業の夢プランや農山漁村活性化プロジェクト交付金の活用を検討している。仙北市の新たな戦略作目として見込まれるものなどがあれば積極的に市としても導入を図り、支援していきたいと思っている。

**質問** 組織営農に関する事項について、経営改善には組織化の誘導策が有効と考える。皆でやれば実績を上げられ

ると思う。こうした支援事業があれば何か生まれようか所見を伺う。

**答弁** 小規模農家の組織化問題については、昨年の品目横断的経営安定対策に変わって水田経営所得安定対策事業となり、やる気のある認定農業者の方であれば4ヘクタール未満でも対象となる特認制度を設けている。この制度を大いに利用して、小規模農家が加工に結びつけたり、他の収益性の高い農作物との組み合わせを考えたりする取り組みに対してはこれまで同様、積極的に支援をしてまいりたい。

と考える。こうした支援事業があれば何か生まれようか所見を伺う。

**質問** 仙北市農業を展望するにあたって、長期計画を策定し農業振興を図っていくべきだが。

**答弁** 現在、中・長期計画という明確なものを出していないが、今、仙北市の農業振興計画を準備中である。中・長期の計画については策定に向けて進めていきたい。

**質問** 市の消防体制の充実と消防団の育成強化が必要と考える

**答弁** 仙北市消防団の定数767名に対し現在の団員数は631名となっている。班長以上については充足されていて、班長未満の団員の補充が必要な状況である。補充の努力とともに、定年の引き上げを図るため、その準備作業を進めている。女性団員の募集もしているがまだいない。実現に向け努力を続けたい。

## 仙北市の地域医療の課題を問う いろいろな角度から検討している



田口 喜義

**質問** 合併の時にはそれぞれの地域に総合病院があり、診療所があり、おおむね役割を果たしてきた。しかしその後、医師不足等により救急指定の取り下げから始まり、今2つの市立病

院、診療所の運営一本化による再編・ネットワーク化による経営の改善が協議されているが、合併時においてはどの地域に住んでいても同じサービスが受けられる医療体制の充実を整えることを住民に確約をしている中にあって仙北市の地域医療に関する市長の考え方を伺う。

**答弁** 仙北市として合併の結果、市として地域医療を行うに当たり市立病院が2つあり、

診療所等も持っている。

これを市としての地域医療をやるにはどうしたらいいかということ、本年度に入つて国、県の指導も踏まえて、「市立病院等改革推進計画策定委員会」立ち上げ、仙北市内の医療のあり方について多方面から検討を重ねてきているところである。「一つの病院とそれにネットワークとしてつながる診療所」を、こういった形で行うのがベターである。

**質問** 田沢湖病院の診療化については、50年以上にわたり、この地域の拠点病院として大

きな役割を果たしてきた。

病院が診療所になることについては、各種の課題が出てくる。高齢化が進む中で住民の命と健康を確保できるのか、スキー大会、山岳登山、など各種大会や自然災害への対応等緊急医療の確保が必要になるのでこの点についての市長の考えを伺いたい。

**答弁** このことについては、角館総合病院を基幹病院として田沢湖病院を診療所化にし、

そして既存の診療所はそのまま診療所として機能させていくという方法が

ベストであると策定委員会の中で出ている。診療所といったときどうなるかということですが、住民の命、健康についての機能を果たすことであり、外来の診療は現状と同様に出来るよう、医師、看護師の配置は行うということである。

**質問** 救急再開のための医師確保はどのように進められているの

か伺いたい。

## 田沢湖病院の救急医療の再開を急げ 市民の意見を基に検討する



浦山敏雄

**質問** 市立田沢湖病院の診療所化と、仙北市の地域医療をどうするか。

**答弁** 診療所化ありきでスタートしたわけではなく、市全体の現状と医療ネットワークなり医療形態をどうすべきか、検討してきた結果方向性として田沢湖病院

か伺いたい。

**答弁** 秋田大学医学部、自治医科大学、地元出身の医師の方に、現状も訴えてお願いを続けているところである。さらには人材派遣の業者さんを通じての医師の募集も行っている。

今後とも医師の確保については努力してまいりたい。

の診療所化という話になった事はご理解頂きたいと思う。

**質問** 田沢湖地域は観離の温泉地からの患者の対応については救急医療再開が必要不可欠である。救急医療再開のためにも、医師確保に今年度どのように取り組んでいるか伺いたい。

**答弁** 医師確保については田沢湖病院を主体に、秋田病院並びに自治医科大学への医師の派遣要請を重点的に行っている。又地元出身の医師の方へ直接交渉を前年

行っている。今年に入つて本人にお会いをし状況を説明して仕事をして頂くようお願いを強くしていきたいと思つている。

**質問** 20年度中に、国の総務省からの通達で、市立病院の改革プラン策定については、市民の意見をどのよう

な形で集約していくのか伺う。又策定できない場合のペナルティーがあるのか。

**答弁** 市民並びに議会という必要性を思っている。このあと市民説明会、議会への説明を踏まえて、今年度中に提出したいと思つている。ペナルティーは特にいわれない。強力な指導があると聞いている。

**質問** 公共工事の入札の際、当市では最低制限価格の規定設置についての検討をされているのか又指名審査会に付された工事については低入札価格調査制度及び条件付き一般競争入札の施



住民800人の命をあずかる田沢診療所

**質問** 第三セクターの会社の全体の相互協力や、相互支援などを重点的に繋げることがプラス面が出てくると思うがどうか。第三セクターの経営責任の明確化が必要で、全体の管理、経営

**答弁** 入札方式の改革改善として、低入札価格調査制度、そして条件付き一般競争入札を

試行して、テスト的に二十年度いっぱい行う。こうした改革を試行した上で、さらに総合評価方式というものへ検討を進めていきたいと思つている。

行つて伺う。



医療のあり方を検討している改革推進室



責任等、自立させる方法が考えられないか。

**答弁** 第三セクターとして市がやるべき

目的を持った施設運営なり事業を行っている。三町村の中で類似した業務も有り、そうした意味の相互協力相互支援というものが必要と思つてい

### どうする不適切な取り扱い 違法性を認識している



## 青柳宗五郎

**質問** 仙北市の農業振興は、減反活用こそ農家が生き残れる方法ではないか。

今後、市としては地域の特性を活かし、特産となるべき品目の調査研究を行い、市独自の方向性を示す考えはあるか。

**答弁** 市としては、米に頼る農業から他の作目を導入して、総合的に農業が成り立つ方向を目指している。

る。又三セクの経営責任は、指定管理制度という目的に沿った業務を進めている。又、経営責任と

いうことについてはしっかりとした考えを持って経営をするよう三セクには求めているところである。

国や県の機関に付随した農業指導所などと相談の上農家に伝えていきたい。

**質問** 桜祭りに有料駐車場料金金の不適切な取り扱いについて、H19年度より市直営で行わ

れているが、前年度まで観光協会への委託料はいくらか。

夜間、整理員配置による人件費等の収支はどうなるのか。

**答弁** 角館観光協会から市直営にあたり、雇用する臨時職員を減らすと考え、足りない所は職員が当たるといふ過度に削減した予算を組んでしまった、ところが当初考えていた予算を超える人件費、経費等が必要になった所に原因がある。

夜間については桜の期間早朝から車で来られる方が多く、無断駐車のため特に大型駐車場の渋滞

を招くことになった。そのため夜間整理することにより、当初考えなかった人件費が必要になった。不足分を補うため駐車場収入から、補填することを職員相談の上行ったことは、安易な行動であり不適切な公金の取り扱いである。

**質問** 駐車場料金の一部88万円をプール(経費支払額)する報告があつたがプール分について領収書の取り扱いはどうなっているか。

**答弁** 領収書(半券)に入れた額とプールされた88万円を合算した金額と半券を含めたチケットの金額を照合した結果、私的流用はないと判断した。

**質問** 職員の積立金25万円(不足分に充当した額)はいくら不適切であれ個人に負担させていいのか。

**答弁** 本来ならば、職員に返還すべきであるが、処分した職員がその違法性を認識していないながら実行したことを考えた場合返却を要しない

と考えた。  
**質問** H19年度の補正予算に新たな計上はできるのか。  
**答弁** H19年度補正予算計上は、過年度

支払できるものもありませんが、今回の場合は一般会計の収支経理ではなく実行委員会の経理であり、見極めがきわめて重要である。

### 後期高齢者医療制度は合法か？ 現時点においては合法！



## 平岡 均

**質問** 今、本人の了解を得ないまま、年金から天引きされる後期高齢者医療制度は合法か。

さらに75歳を過ぎると一軒の家に2人いれば、個人単位に請求される。これも正当か。次に保険料の決定に対して、行政不服審査法に従った事件が起きていく。仙北市の状況はどうか。

**答弁** 後期高齢者の保険料の決定、納入については、国を中心に

保険制度の中で行なっている。

秋田県の場合は、後期高齢者広域連合で保険事務を取り扱っている。仙北市はその傘下にあるので、この制度は合法、正当であると思つている。

仙北市においても秋田県においても不服審査請求等は一切ない。

**質問** 仙北市は農林業が基幹産業であり、その中心は農協である。最近その農協が「残っている米があつたら高く買う」という文書を農家に回した。市長はこのことをどう思うか。

次に矛盾していることがわかっていても、稲作農家は間にあわないコメをつくる。この実態を市はどのように判断しているか。さらに農業収入の



桜祭りに続き、盛況の臨時駐車場

実態は、農業による所得税は納めたくとも納めることができないほどである。

このような農業に対し、市長は新年度予算にどのような視点で取り組むかを伺いたい。

**答弁** J Aのあまり米の件については初めて聞いた。仙北市の農業政策は、複合経営を推し進め価格変動に耐えられる強い農業を目指している。

予算を組むにあたっては他の産業とのバランスを考え、予算を組みたい。

**質問** 仙北市にとって男鹿和雄展は千載一遇のチャンスである。教育委員会は仕事の集大成という意気込みで取組んだらと思う。歳入歳出予算や入場料に問題があるように思うが、最低でも東北全体に宣伝するくらいの思いでやるべきと思うがどうか。

**答弁** 今、実行委員会を中心に準備を進めている。展覧会はもちろんだが、関連イベント、協賛イベントの概要もまとまってきている。東北北の交流拠点都市を意識して取組み、多くの方々

に喜んでいただくようにしたい。入場者数については、1日500人で40

## 市民と協働のまちづくりについて 民間の力を借りて市政運営を行う



### 佐々木章

**質問** 市政の方向性が見えない現状においては、市民の声や力が行政の中で活かされるためにも、更なるNPOの立ち上げや活用が必要と考えるが、その考え方は。

**答弁** 市民でできるものは市民でと言う事を一つの柱として、今後もNPOを始め民間の力を借りながら、市政運営を行いたい。

**質問** 第三セクターが指定管理者の市の施設が多数存在する現状は、官主体の行政管理の延長にしかすぎず、第三セクターの救済策とも思われる。市の行政目的にかなったNPOの立ち上

日計算すると2万人となる。これはなんとなく実現しそうな気がする。

を働きかける事などにより、それに基づいて指定管理者制度をうまく活用して市民との協働の施設管理を行うべきと考え、その考え方は。

**答弁** 民間に委ねる事に委ねる、という考えに基づいて市民サービスの維持・向上、地域経済の活性化・雇用等を配慮しながら行政のスリム化を進めてきている。

**質問** 指定管理者のNPOの立ち上げを進める考えはないが、多くの提案が出される環境があるような社会形成となるよう働きかけていきたい。

**質問** 行政の柱の一つが観光である仙北市においては、統一性をもちた観光施策が必要と考えるが、三地区にそれぞれある観光協会について、今後どのような形で統一性を図っていくのか。

**答弁** 現在は、事務局レベルで観光協会連絡協議会を設置すべきということでもとまりつつある状況である。

それぞれの地域の特性を活かしたそれぞれの観光協会が、お互いに連携することによって総合力を高めることを狙いとして取り組んでいる。

**質問** 田沢湖病院・角館総合病院の現状と、今後の見通しについては。

**答弁** 平成19年度の累積欠損金は、田沢湖病院4億2000万

円、角館総合病院10億5000万円となっている。

市内の地域医療を持続的に保持する為に検討委員会をつくり改革プランの策定を進めているところである。

両病院の経営管理の一元化にある効率化を求めながら、医療サービスの低下を防ぐ為の結果が田沢湖病院の診療所化の方向付けである。

一地区の病院の問題ではなく、仙北市全体の地域医療の問題として捉えていただきたい。



3地区の統合が望まれる観光協会



入場者4万人を越え大盛況の男鹿和雄展



## 診療所化で地域経済が落ち込む 経済効果を念頭に入れ進める



### 田口寿宜

**質問** 市立病院の今後  
の方向性について  
伺うが、まず病院経営の  
現状に対する反省点を伺  
いたい。次に田沢湖病院  
の診療所への規模縮小問  
題だが、市立角館総合病  
院を基幹病院と位置付  
け、田沢湖病院を診療所  
にするという方針が示さ  
れた。市民の中には「安  
全・安心してこの町に住  
めなくなる」という声が  
増えている。この点につ  
いてどのように感じてい  
るか。市民に対してこう  
なるまでなぜ直接説明し  
なかつたのかを伺う。市  
民不在の議論が進んでい  
るように思うがどうか。

**回答** 病院の経営の現  
状に対する反省だ  
が、将来の人口構成、高  
齢化の対応策等に欠けて

いたことが大きな反省点  
だ。角館総合病院の形態  
では「病床数」・田沢湖  
病院については「改築」  
が妥当な施策であったか  
という点も現状の反省点  
につながる。医師不足の  
予測や診療報酬の引き下  
げが病院収入の減となっ  
たが、この対応にも反省  
点がある。

田沢湖病院の診療所化  
については、策定委員会  
で種々検討をして、意見  
を集約した中で方向性と  
して出たものである。こ  
れを市民に示して意見を  
いただくことにしてい  
る。したがって今  
後より良い方向に  
変えることはやぶ  
さかでない。

「市民不在の議  
論」という指摘が  
あったが、順序と  
して間違っていた  
とは思っていない。  
病院問題に対  
する仙北市の方針  
を示して、初めて  
皆さんの意見を求  
めるという順序で

進めている。決まったと  
いうことではない。

**質問** 診療所に規模縮  
小された場合、重  
点プロジェクト等各分野  
に及ぼす影響を考えてい  
るか伺いたい。

まずは観光に与える影  
響と仙北市経済へ与える  
影響について伺いたい。

病院と診療所では、地  
域経済へ与える影響が違  
うと思うがどうか。また  
重点プロジェクトへの影  
響やまちづくりへの影響  
も大きいと思う。このよ  
うなことを考えると田沢  
湖病院の診療所化が引き  
起こすマイナス面をどの  
ようにとらえて対応する  
か。

今回の方向性に  
ついていろいろな  
影響があることを質問の  
中で説明があったが、否  
定はしないが観光への影  
響にしても病院経営の影  
響についてもあくまでも  
予想、仮定の話であると  
受け止めている。今後考  
え方や試算・シミュレー  
ション等を行って、ベス  
トの道を選択したいと考  
えている。地域の経済効  
果については今後、念頭  
に置いて進めていきたい  
と思う。議員指摘の中で  
強く感じとったところで  
あり、それら改善法につ  
いてご提案をいただきました。

**回答** 今回の方向性に  
ついていろいろな  
影響があることを質問の  
中で説明があったが、否  
定はしないが観光への影  
響にしても病院経営の影  
響についてもあくまでも  
予想、仮定の話であると  
受け止めている。今後考  
え方や試算・シミュレー  
ション等を行って、ベス  
トの道を選択したいと考  
えている。地域の経済効  
果については今後、念頭  
に置いて進めていきたい  
と思う。議員指摘の中で  
強く感じとったところで  
あり、それら改善法につ  
いてご提案をいただきました。



桜木内地区の病院改革説明会

## 内陸線は地域住民の足である まちづくりの役割を担っている



### 門脇健郎

**質問** 仙北市では遊休  
資産というべきも  
のが数多いと推察する。  
資産は有効活用するこ  
とにより価値が生じる  
が、遊休状態では弊害と  
なることが多く、景観を  
損ねかねない。その現状  
について活用計画があっ  
たら示して欲しい。また  
財政が厳しい時だけに、  
売却も一方策と思うがど  
うか。

**回答** 仙北市の資産は  
有効に活用を図  
るべきと考えている。  
管財課と行政改革推進  
室で固有財産の有効活用  
の観点から未利用財産の  
調査にあたっている。  
遊休財産と呼ばれる使  
途について決まっていな  
い土地が14件ある。現在  
未利用で債務負担が終了

後に処分が可能なものが  
1件である。一部利用し  
ているが債務負担終了後  
に処分可能なものが2件  
ある。利用計画があるが  
現在利用されていないも  
のが3件と方向性につい  
て協議中のものが2件で  
ある。また現在利用中だ  
が方向性について協議中  
が2件である。  
具体的などころまで進  
んでいないものについて  
は売却を積極的に進めた  
い。

**質問** 内陸線の存続は  
北東北の観光都市  
を目指す仙北市の振興に  
欠くべからざるものであ  
り、地域住民の足である。  
知事の考えに以前と違  
いがみられる。知事と2  
市長の3者協議では、高  
齢者ら交通弱者が多く、  
また年間40万人が利用し  
ている事実から存続に意  
欲を示している。負担に  
ついては県は今まで通り  
い。

知事の考えに以前と違  
いがみられる。知事と2  
市長の3者協議では、高  
齢者ら交通弱者が多く、  
また年間40万人が利用し  
ている事実から存続に意  
欲を示している。負担に  
ついては県は今まで通り  
い。



## 答弁

沿線住人の悲願として開通した路線であり、交通弱者の交通手段である。また観光振興、まちづくりなど重要な役割を担っていることから存続に向け努力している。

知事との会談で平成22年度を用途に2億円の計上損失、その後24年までに1億5000万円とする5年間の新たな計画にむけて努力を続けることと合意した。なお経常損失額を越えた部分は基金から補てんする。



存廃問題に揺れる秋田内陸線!!

## この人にインタビュー



阿部純栄さん  
仙北市角館町雲然田頭33

### 転作と助成

今年もテレビ新聞等で転作に協力しない農家が多く過剰作付、そして作況指数もやや良で米余りで価格が下がる様な事が報道された。

先日全農が昨年の米価より1000円アップと発表したが、今年の物価高では農家としては喜ぶ事は出来ないと思う。

転作の協力だが組織のある農家(法人集落営農、認定農業者)は別だが、一般の農家にして見れば高い農機具を購入しているのだから少しでも自分の機械を利用出来る作物であれば転作に協力する農家も居ると思う。

自分も認定農業者として転作に大豆を作付して

いるが大豆用の機械がないので耕起以外はすべて大豆組合に委託している。

転作助成金は作業代金を支払すれば助成金はほとんど残らない。バイオ燃料等で輸入作物が不足し畜産飼料が高くなっていく主食にならない飼料米の作付にも大豆、麦、牧草などの助成金があれば飼料米が安くても自分の農機具を利用できれば一般農家でも転作に協力する農家が居ると思う。



榎尾龍子さん  
仙北市田沢湖生保内

### 一般質問をふり返る

「私達の目の前から病院が消える。」との不安におびえ、議会傍聴に行きました。二日間のいろいろな質問のうち、特に病院関係に対する一般質問に立たれた議員の方々の熱意に対しては、さすが、私達市民の代弁者で

ある事に、頭の下がる思いでした。しかし、議員の方の厳しい質問に対しての市長よりの答弁は、財政と、医師の招へい難との説明でした。その事についての活動状況・努力などは、行動なされたお話しは残念ながら聞く事が出来ませんでした。市長は、病院に対する委員会検討した結果何回となくお話しされましたが、この様な大切な話し合いを委員会に諮問していいの

最終決定責任は、市長の決意なものでないでしょうか。最後に市長より、「まだ決まったわけではない」と、はっきりのべられました。我々は、まだ諦めるのは早い、行政のお力添えのもと、現在の病院の継続と救急指定病院の復活を求め、市民の安全、安心と、多くの観光客の方に来て頂けます様、議員の皆様と市民一体になり努力したいと思っております。

- 
- 
- 
- 
- 
- 



安杖清孝さん  
仙北市角館町八割

### 臨時駐車場料金問題

問 青柳議員の質問は平成19年度桜まつりの臨時駐車場の料金をどのよう

に扱ったか、という質問だったが…。

安杖 観光協会が実施してきた事業を仙北市が行ったことはわかったが、料金の扱い方についてはよくわからなかった。

問 観光課の事業は一般会計で処理し、実行委員会は補助金等を使って会計処理する。これを観光課職員がごちゃ混ぜの経理をしたということだ。

安杖 シルバー人材センターへ支払った113万6900円がどうこう言っていたが、実行委員会で払うものか、観光課で支払うお金か。

問 駐車場の料金収入は一般会計に入る。その支払いは市が行なう。

職員は実行委員会のお金で処理しようとしたが、お金がなかったためお祭り実行委員会のお金を一時借用して支払った。

このお金の返済に、一般会計に入れるべき駐車場料金を少しずつ別の口座に寄せて88万円と職員の旅行積立25万6900円をこれに充てた。

安杖 大体の内容については解ったが、チエツク機関の議会はこのことについてどのようにするか。

問 議長職権で議会最終日に、市長の監督責任を問う決議と98条事務検査特別委員会を設置して検査を行なっている。

## 市民の皆様へ

次回の定例会は  
12月上旬の予定です。  
ぜひ傍聴に来てください。

# 議案質疑

議案質疑は所属する委員会に付託されるもの以外について質問するという決まりになっている。今定例会の質疑通告者は三人である。

特養、清眺苑の民間委託に伴う敷地の無償貸付について、多くの時間がさかれた。

## ■神代小学校改築 地質は大丈夫か

**問** 神代小学校の改築は現校舎が耐震基準を満たしていないことから始まった。地質は大丈夫か。

**答** 19年度三方所の地質調査をした。深さ6・5mと8・15mの所に支持力（N値）50の欠ける所があり、ソイルセメントプラム工法500本を施工し支持力を増す工事をした。

**問** 条件付一般競争入札のねらいは何か。

**答** 地域の範囲、県の等級格付等の一定の条件を付して入札の広告を行い入札参加資格確認申請書を提出した業者で、入札を執行するので地域や技術を区別出来る。

## ■仙北市公益法人等への職員派遣等に関する条例改正

**問** 仙北市で派遣の対象となる公益法人はどんなものがあるか。

**答** 仙北市社会福祉協議会、仙北東森林組合、財団法人田沢湖観光協会、仙北市商工会等である。

**問** 公益法人への天下りなど問題、弊害が出ている。全国的には、公益法



起工式を終え改築着工の神代小学校

人等への派遣をやめる方向にあると思うがどう考えるか。

**答** 公益法人から公益的法人にかわった理由の一つとして国家公務員の天りの温床になっているというのが改正の要点と

**問** 一般会計補正予算  
総務費賦課徴収費についてだが、委託先が日立システムズとの随意契約とのことだが、競争原理が働かないのではないか。

**答** これまで委託先である会社と随意契約することにより機種等が同じ事

から最小の価格になると思う。

**問** 民生費、児童措置費に関してだが、大曲養護学校の分校を仙北市にという話があるがどうする。

**答** 大曲養護学校の生徒が120名を超えている。北仙北から40名程が通学していてバスも満員状態である。仙北市に分校、分教室があればありがたいとは思っている。

## ■仙北市 介護保険 特別会計補正予算

**問** 特養、清眺苑の改修のことだが今回の改修の他は計画にないのか。

**答** 今回の補正は年次の9日諮り、内容を説明しただけで終わっている。次に8月28日に協議会を開催しているが、この日は答えは出ずに協議は継続となっている。

に予定して補修しているものだ。

**問** 介護保険でも減免規程を作るべきだ。

**答** 現時点では、その準備はしていない。

## ■生保内財産区特別 会計補正予算

**問** 清眺苑の民間委託に関する募集要項に土地無償貸付とあるが、財産区管理会の会議には、いつ諮ったのか。

**答** 管理会協議会に7月

**問** 8月28日の協議会で答が得られなかったとするならば募集要項を書き改めるべきでないか。

**答** 市が運営しているものと同じ内容のものを民間にお願いする事業なので、近々中に開く協議会には誠意をもってあたりたい。



生保内財産区有地に立つ清眺苑

**問** 7月9日に提案して8月28日に再度提案しているが同意を得ていない。管理会の同意を得られないのにどうして募集要項に載せることが出来るのか。財産区管理条例違反にならないか。



平成19年度公営企業会計（病院事業・温泉事業・水道事業）の決算内容を審査するために、仙北市議会公営企業会計決算審査特別委員会が設置された。特別委員会委員は次の11名。

委員長・八柳良太郎、副委員長・真崎寿浩、委員・田口寿宜、佐藤直樹、大石温基、浦山敏雄、青柳宗五郎、高久昭二、佐藤宗善、藤原万正、戸沢清。

### ◇病院事業会計

#### ○田沢湖病院

年度途中から常勤医師が1人増え、急病患者の夜間診療を開始し経営改善を図ってきたが、外来患者の減少、診療報酬の引き下げ等の影響で収益を回復することはできず、当年度純損失は、2億3055万4千円である。

**問** 外来患者数が減少しているが、その原因は何か。

**答** 外来患者の減少は投薬期間の長期投与が浸透したこと、地域市民の病院離れという潜在的な意識等により、減少傾向にある外来患者数に歯止めがかから

## 市立病院 非常に困難な局面

なかつたためと分析している。

**問** 田沢湖病院が診療所となってもやむを得ないと判断しているのか。

**答** 地域の医療機関として病院という形態ではなくなることは、地域市民の安心や安全の確保、地域経済に対するダメージが大きく、残念である。

一方では一時借入金を繰り返しながらの経営面において、市立病院としての一歩診療機能も充足されないまま、税金の投入もせざるを得ない状況に迫られていることが市民の理解を得られるかという論点もあり、非常に困難な局面であり、苦しい立場であるこ



老朽化が進む市立角館総合病院

#### ○角館総合病院

とを理解願いたい。

前年度に診療報酬および薬価の引き下げが行われたため19年度はその対応として一般病棟の7対1看護配置などを行い収益の増加を図ったが消化器内科の常勤医師の退職等により入院収益が伸びず、当年度純損失は6855万7千円となった。

**問** 3月定例会時の決算見込みに関する質問に対する答弁では、収支は均衡との説明であったが、純損失6855万7千円となった原因は。

**答** 2月になって気づいた二重調停が大きな理由である。本来の調停で再計算した結果純損失となつてしまった。

二重調停の内容は、レ

セプト処理の勘違い（個人負担額も病院の収入になるという間違い）によるもので、現在は二重に点検する体制を整え誤りの防止に努めている。

**意見** ①田沢湖病院にあっては、市民の意見を十分に聞き、現在の病院としての形態を存続させるために努めること。

②医薬品などの購入や給食関係にあつては、両病院の連携を強化し、共同購入、共同委託等を検討し、引き続き経費削減に努めること。

③逼迫している財政事情を考慮し、真に緊急を要すると認められない工事の施工にあつては財務規則に規定する事務手続きの徹底を図ること。

以上の要望意見を付し

賛成多数で原案を認定と決定した。

### ◇温泉事業会計

○上期純利益は626万9千円。

**意見** ①大口の滞納者の解消が急務であり、関係法令等に基づき市独自の滞納解消策を早期に確立し、滞納解消に努めること。

②老朽化した分湯槽や配湯管等の温泉事業施設の更新整備計画を策定し、年次計画に従つて維持管理を行うこと。③地域の環境保全の観点から、排湯に対する施策を検討すること。④温泉事業の収支にあつては、各施設の健全な経営によるところが大きいので、関係部署との連携を強化し、支援・指導を要望する。

以上の意見

見を付し全会一致で原案を認定した。

### ◇水道事業会計

#### ○水道事業

当期純利益は3181万5千円。

○上期純利益は1338万2千円。

**意見** ①納付者の公平性を考え、滞納回収に努めると共に、新たな未収金の発生防止に努めること

②水道の安全性や環境面から井戸水の危険性、不安定性等、安全な飲料水に対する住民意識の向上につながる啓発事業の実施すること。③神代、下延、八割、雲然地区等の地域要望に応え、水道事業の早期着手に向け検討すること。

以上の要望・意見を付し全会一致で原案を認定した。



水沢温泉地区に供給する分湯槽

# 会期16日 常任委員会 だより



## 総務常任委員会

平成20年9月16日 は8名の全員

(火)、本会議において付託された議案・陳情、及び継続審査となっている陳情について、19日(金)田沢湖庁舎3階第1会議室において委員会を開催した。本会議より付託された議案5件、陳情1件、継続審査中の陳情2件の計8件を審査。出席委員



オープンセレモニーで挨拶する男鹿和雄さん

これまでの公益法人の設立は公益性が要件となっていて財団法人、社団法人であったが、国の法律改正により公益性の有無にかかわらず登記によって一般社団法人等になったための条文改正です。仙北市が条例で

### 仙北市公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正

条文中の「公益法人等」を「公益的法人等」に改め、「有限会社」を削る。問 公益的法人とした理由は。

答 これまでは公益法人の設立は公益性が要件となっ

定めている職員の派遣等が出来る法人は社会福祉協議会、観光協会、商工会、仙北東森林組合である。問 「有限会社」を削除する理由は

答 会社法の施行に伴い有限会社法が廃止され設立できなくなったためである。

### 一般会計補正予算

#### 〔歳入・寄付金百万円〕

問 寄付者S氏は合併前から地域に貢献している方でもあるので、ただ頂くだけでなく、感謝状等贈る考えはないのか。

答 篤志を頂いた方には感謝状を考えなければならぬ。市の記念日を設定して進めて行きたい。

問 〔歳出・財産管理費〕 佐藤義亮家のトイレ



新潮社初代社長、佐藤義亮生家

改修にあたり、その後の方策はあるか。

答 交流広場、佐藤家を利用しながら周辺の活性化する意味での改修だ。今後、定住プロジェクトとの兼ね合いを考えながら進めていきたい。

問 〔行政改革推進費〕 国などは審議委員に對しては無報酬になっている。住民が自発的に行政に参加するシステムを造る時代と思うが。

答 他の市などを調査した上で市長、当局側と相談し、方向性を考えて行きたい。

問 〔国際交流推進費〕 台湾・プリー市と国際交流する事により将来どのような展望が開かれるのか。

答 今回の交流では高校生、農産物関係、長期滞

在等を協議したい。これを充実させることにより国内外の交流人口は増える。



## 教育民生常任委員会

### 児童福祉施設費

問 児童遊園地施設維持管理費の説明で修繕と撤去費用とあったが普段の管理はどうなっているか。

答 安全の基準はどのようになっているか。

問 長寿子育て課で管理しているものは19ヶ所、田沢湖地区は18ヶ所、角館地区1ヶ所である。

問 田沢湖地区の18ヶ所は地域の集会所と併設になっているので地域の集落団体などに管理をお願いしている。

安全については、専門業者に委託して児童遊園

地の他、保育園も含め調査した。

問 児童公園について条例に規定されている公園は全て入っているか。

答 仙北市児童遊園地については条例、規則等の設置要項の定めたものはない。19ヶ所の遊園地のうち9ヶ所が児童館に併設されている。

問 10ヶ所は規定されたものでないという勘定になる。規定されていないものどうやって管理費をかけるのか。

答 児童遊園地の場合は土地が借地もある。旧田



使用禁止の遊具、修繕か？撤去か？



## 陳情

沢湖地区が多いが公の施設としての設置条例規定はないが設置者が町であったので、財産管理上の施設として管理していたと聞いている。

**問** 管理費や借地料出す場合、きちんとした規定がないとまずいのではないかと速やかに検討して欲しい。

**答** 早速検討したい。

**問** 児童館、遊園地の周辺で子供達はどのくらいいるのか。

**答** 把握していない。

**問** 利用率がどのくらいあるかわからないところに予算付けをしているのか。

**答** 管理を委託している地域のひと話し合って進めている。地域と話し合って利用実態を把握したい。



北卒田児童館に併設されている遊園地（上真崎野）

● 後期高齢者医療制度中止・撤回の意見書採択を求める陳情書

○ 国会でも審査中であり制度がどのように変わるか不明のため引き続き調査が必要として継続調査。

● 市立田沢湖病院の存続方について

○ 定例会最終日、急ぎよ付託されたもので引き続き調査が必要として継続審査。



## 産業建設常任委員会

### 一般会計補正予算 歳出6款農業費

#### 山鼻堰首工改修調査費

**問** 山鼻堰首工は伝建群武家屋敷水路につながるが、観光、防災上欠かせない為、早急な改修を求めろ。

**答** 山鼻堰首工の倒壊による回収は多額な費用が見込まれる為予算上応急措置を取り早急に回復したい。

**問** 商工費外町交流広場施設管理運営費に関連して、早い機会に指定管理委託して管理を民間に託し、中心市街地活性化を図るべきではないか。

**答** 一年から一年半、市が直営管理し、水道光熱費等諸経費を把握し、出来るだけ早い機会に指定管理者を選出したい。

#### 土木費冬季交通対策費

**問** 冬季間除雪費であるが、同予算で昨年並みの除雪サービスがまかなえるのか。

**答** 冬季除雪費は昨年並みの予算を計上したが、

市民の要望に  
応えるため、  
最大限努力し  
たい。

#### 市営住宅

**問** 市営住宅運営管理費の火災報知器設置は菅沢団地を考えているが、他の市営住宅は今後どうなるのか。

**答** 岩瀬住宅、田中住宅

については来年度予算化  
し対応したい。

#### 仙北市外町交流広場条例 制定

11月上旬開館予定の外  
町交流広場施設管理など  
行うための条例制定。

早い機会に指定管理者  
移行するよう要望を付し  
て原案可決。

### 一般会計補正予算

#### 山鼻堰頭首工補修調査

今後恒久的に対応する  
ため、修理の可能性、事  
業費の状況の調査であ  
る。



工事中の田町交流広場

産業会館屋根補修費は  
西木公民館向かいにある  
建物で、築後30年以上経  
過し、老朽化が著しいた  
めの補正である。

水道事業会計補正予算  
急速る過機設備更新事  
業について、鋼材等が高  
騰した影響により、国か  
ら公共工事の支払額の見  
直しが発表された。当初  
予算で事業実施が困難と  
なり、変更請求に基づく  
補正措置となった。

#### ・ 請願第1号

国営農業水利事業と地  
方農政局の存続に関する  
請願書、全会一致で採択  
・ 陳情第1号  
住宅地内の前川水路改  
修の陳情

前回現地調査確認。全  
会一致で採択

#### ・ 陳情第9号

生活道路及び作業道路  
の整備に関する陳情  
現地確認し継続審査と  
する。



順調に進む農業集落排水事業  
田沢処理場

# 市民インタビュー 地域を訪ねて

9月定例議会の一般質問に、田沢湖病院の診療所化に関する質問が4議員から、秋田内陸線存続に関する質問が、地元議員一人から出された。特に田沢湖病院の診療所化については、地元住民の関心も高く議会傍聴者数はかつてないほど多かった。

議会広報委員会は2つの問題に焦点を当て、2班編成で地域に取材に訪れ、地元住民の生の声を聞き、議会審議に反映することを企画した。

## 「田沢湖病院問題」と「内陸線存・廃問題」を地域住民と語る！

特別企画により、沢田 沢小学校)において、9月23日市民インタビュー委員長を始め、高久、浦山、田口(喜)の4名で、田沢地区11名、生保内田沢交流センター(旧田地区5名の方々に取材した。



病院問題の取材(田沢交流センター)

取材のため一、田沢湖病院の診療所化について、新聞やマスコミが大きく取り上げていることをどのよう  
に受けとめているか。二、救急病院に対する考え方。三、経営改善について。



どうする市立田沢湖病院

総務省に言われたからといって、「うのみ」にして進めていいのか。

入院ベットが空いているからといって診療所がいいのか。命を守る責任だ。

★住民の意見も聞かず、協議している内容もわからず、議会からの説明もなく、「やみくも」にやっている話だ。もう一度住民参加で協議すべきだ。

四、どのような地域医療を望んでいるか。以上4点についての設問である。

現在まで当局が示している方向性、議会での質疑の経過を述べ参加者の思いを発言してもらった。

### もう一度住民参加で協議すべき

★H18年度から協議が進められているようだがどのようなメンバーで行われているか。H19年度には市民へ内容の報告があったのか。年々老人が増え老人が老人を介護する時代になり我々が病院を追い出されたらどこへ行けばいいのか。

### 命が大切、ハート(心)で助けて

★角館病院と田沢湖病院の医師連携により田沢湖病院の救急を再開して欲しい。私は子どもと孫を交通事故で亡くしました、もう5分早かったら助かっていた命と思う。

自分の子供を交通事故で亡くしてから気づいても遅い。ハート(心)で

### 列車時刻など不便だが、仕方なく乗車！

9月22日7時30分秋田内陸線角館駅に取材班5人が集まる。角館駅着7時38分の列車で、高校生や通勤客そして病院通いと思われる人たちが列車から下りた。上松木内からの通勤客にインタビューをする。「自宅は内陸線の駅から1・5キロの道のりがあり、高橋生の子どもには列車時刻の関係から進めていない」。

「列車の時刻にもっと工夫して欲しい」とと定期券は6ヶ月で10万円。1日券は1500円と料金にも不満がある」。「正直言つて自家用車で



内陸線車内での湯沢の女性にインタビュー

の通勤が最も便利だが、仕方なく内陸線を利用している」。

駅前観光蔵やスタシオンを内陸線の営業拠点としたらどうか、と質問した。

「内陸線と観光課が陣





質問に明快な答えがでなかった知事懇談会

取って、相乗効果が出るように利用すべきだ。」  
 角館駅8時53分発の列車に乗り込む。乗車人員は我々を入れ16人ほど。  
 「田沢湖マラソンに出場した。ホテルで秋田内陸線のテレビを偶然みた。一両列車が野山を走る姿を見て、なんか乗ってみたいくなった」という東京の人に話しかけてみた。  
 「上手に都会で宣伝すべきだ。きつと沿線の風景や一両の列車にあこがれると思う」と話した。

### クリオン、診療所、河川敷公園を活かす新駅を!

西明寺駅で下車し、浅利議員と合流する。ぜひとも欲しい新駅設置の場所へいつてみる。  
 河川敷公園を再整備する。クリオン隣接地に温水プールをつくり、西明寺診療所のリハビリと子どもや大人の健康づくりに活かす。またにしき園の職員や入所家族の利用など簡易的な新駅を設置し、「お客を呼ぶ」という取材班の考えは一致した。

次に西明寺診療所を訪問し、患者さんに内陸線の利用状況を聞くが、大半は自家用車とバスだった。  
 「駅が近くになつたら利用すると思う」、「仙北組合病院に行くときは、内陸線を利用していい」というお客さんもいた。  
 松葉周辺で取材するが、「この地域では内陸線の利用はほとんどない。列車の時刻、駅までの距離など不便が多すぎる」。

「角館のお祭りや花見などお酒を飲む機会でも時間的關係で利用しない」。  
 「列車時刻について、特にイベントの時は、もっと柔軟な対応ができないか」と言う意見があった。取材班は松葉駅周辺を整備すべきと感じた。  
 「清流苑への直結道路」、「松木内川での川遊び」、「減反地をお花畑に」、「桜の名所づくり」等お客が途中下車する魅力づくりに取り組むべきだ。

次に西明寺診療所を訪問し、患者さんに内陸線の利用状況を聞くが、大半は自家用車とバスだった。  
 「駅が近くになつたら利用すると思う」、「仙北組合病院に行くときは、内陸線を利用していい」というお客さんもいた。  
 松葉周辺で取材するが、「この地域では内陸線の利用はほとんどない。列車の時刻、駅までの距離など不便が多すぎる」。

### 車内案内もなく不便な内陸線!

松葉から再び内陸線に

乗車する。乗客インタビューは湯沢市からきたという女性3人に聞く。  
 「角館まで車で来て、男鹿和雄展を見て内陸線で阿仁の熊牧場に行く」という。内陸線に乗った理由は、廃止になると乗れなくなるからだだった。しかし乗ってみたが不便さを感じているという。  
 「沿線の見たい、食べたい、下りたい時に、案内や連絡方法などが全くわからない。車内案内や広告もない」。さらに「二次アクセスもわからない」、これでは「都会の人には特に不便さを与えるし、親切さに欠ける」。  
 「内陸線が廃止にならないように、皆さんは何か努力したの」という質問に答えは出なかった。  
 阿仁マタギ駅で下車し打当温泉で昼食をとる。森吉から温泉へ来たお客さんに聞いた。

角館方面に内陸線を利用していったことありましか、と言う質問に、「角館へは内陸線よりも車で行く。列車だと待ち時間が長すぎて不便である」ということだった。



山あいをを軽快に走る内陸線

### 市民インタビューまとめ

秋田内陸線の存続か廃止か、という問いかけは知事発言から始まった。乗客数が当初の100万人から40万人台まで落ち込んだ理由は、世の中が車社会に一変したことにある。今、それぞれが再生に係る責任をもったとしても、将来にわたって責任を果たすことは不可能である。多大な財政負担をし、再生計画にあっても、いずれ、内陸線にピリオドを打つ時が訪れる。仙北市としては将来を見通して、早い機会に新たな地域交通システムに切り替えを図る政治決断が必要ではないか。

田沢湖病院の診療所化

医師不足は仙北市に限ったものではなく、全国的な問題であるが、田沢湖病院の経営にとって致命傷であり、深刻な問題だ。医師不足は患者の減少に、そして病床利用率に直結するからだ。  
 国は改革のポイントに、病床利用率を上げた。患者が減ると病院経営は成り立たない。この状態から抜け出す基本は、患者と病院の信頼関係にある。まずは病院経営に関する責任と反省が必要だ。

# 会派紹介 翠巒会 (すいらん)

「翠巒」とは緑豊かな山並みを意味します。一人一人が小さな山になり自立心を高め連なることで、さらに大きな力になれるとの思いで命名しました。

メンバーの構成は田沢湖地区4人と角館地区1人で、基本的な政策理念が一致することが前提の会派であります。

## 市民の立場に立ち、政策提案を

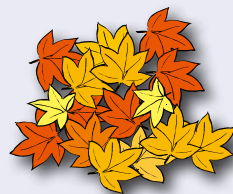
会派の主な活動は、会報「翠巒」の発行と、月に一回程度、会報の取材も含めゲストをお願いし、勉強会を開催して、市民の立場に立ち、政策提案をしながら解決に役立つことが責務であります。

会派の主な活動は、会報「翠巒」の発行と、月に一回程度、会報の取材も含めゲストをお願いし、勉強会を開催して、市民の立場に立ち、政策提案をしながら解決に役立つことが責務であります。

厳しい意見が多いのですが最後の激励の一言で元気が出てきます。今後も定例会毎に発行していきたいと思っております。



す。そのためには会派の議論にとどまらず多くの方々と意見交換、勉強会などを積極的に進めていくことが必要と確認しています。



## 編集後記

今定例会の一般質問の2日間、両日ともに傍聴席は満員となった。8人の質問者中4人が田沢湖病院問題を取り上げたからと思われる。

前号にも記したが一般質問の回数は会派ごとに年間の回数割り振られ、その順番も会派内で一応決まっているようだ。

今回は質問順番には当たっていないが、順番を繰り上げて貰って質問した方もいたようだ。住民の方々の関心のある事柄を適期に質問すれば傍聴者は多くなる。

# 財政改革特別委員会 山形県東根市を研修

効率的財政運営で生じた財源を子育てに！ 東根市の行革を研修

人口46,000人の「すくらんぼの里」東根市は、農業と工業団地のまちづくりを進めている。

行政改革は第4次計画を推進中で、民間委託に

よる職員削減とパート職員の委託会社の社員化に取組んでいる。この取り組みは仙北市と同様であるが、決定的な違いは、効率的な財政運営により生じる財源を「子育て予算」に、という考えである。

さらに工業団地を造成して企業を誘致し「働く場を確保」する。良好な

「住宅政策」を推進する。乳幼児医療無料化等子育てに政策目標をおいているところが違う。

